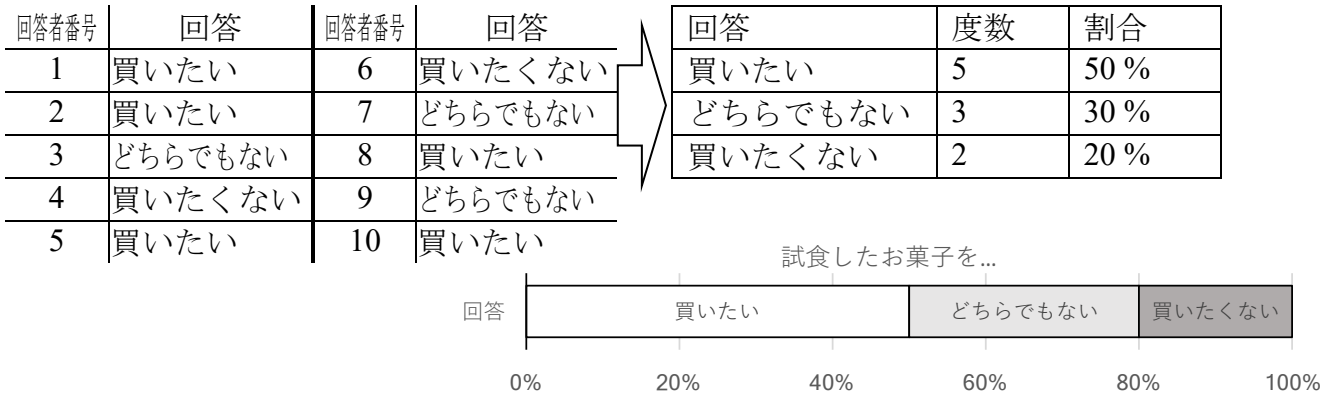


## 【質的データの全体像を捉える】

### 1. 質的データの全体像をつかむための集計

- ( ) …項目ごとの度数と割合を表にしたもの。  
→ ( ) グラフや ( ) グラフにすると割合がわかりやすい。

(例) 新商品として売り出す予定のお菓子の試食者アンケート



[練習3] スプレッドシート (Classroom で配付する「練習3～4」のシート「練習3」) で次のアンケート結果の単純集計表をつくりましょう。

まずは回答結果の表を完成させてから、できるだけ関数による自動計算で、回答結果の右側に単純集計表を作成してみよう。

表が完成したら、積み上げ棒グラフを描かせてみよう。

ゆるキャラデザインに対するアンケート結果

回答者番号	回答	回答者番号	回答	回答者番号	回答
1	好き	7	どちらでもない	13	好き
2	嫌い	8	嫌い	14	どちらでもない
3	どちらでもない	9	どちらでもない	15	どちらでもない
4	好き	10	嫌い	16	嫌い
5	嫌い	11	好き	17	どちらでもない
6	どちらでもない	12	好き	18	好き

○次の関数を使うと、自動的に度数を数えさせることが可能です。

動作	条件に一致するセルの数を求める
関数	COUNTIF(範囲,検索条件)
使用例	=countif(B3:C8,“○○”)
結果	セル範囲 B3:C8 の中で、内容が「○○」であるセルの数



瀬戸内市  
マスコットキャラ  
「セツちゃん」

[グラフ化するときのヒント]

- ・グラフの種類は「100%積み上げ横棒グラフ」を選択しよう。
- ・グラフエディタの「設定」で「行と列を切り替える」や「列〇を見出しとして使用」「行〇をラベルとして使用」といった設定が可能。
- ・系列は増やしたり、減らしたりが可能。

## 2. 複数の質的データの特徴をつかみたいときの集計

- ( ) 集計…項目ごとの度数と割合を使って単純集計表をつくることを ( ) 集計といいます。複数の項目がある量的データから、( ) 個の質的データを組み合わせて集計することを ( ) 集計といいます。これによって、新たにさまざまな特徴がわかります。



(例) 小中学生のセツちゃんの印象に対するアンケート結果

回答者番号	回答	回答者	回答者番号	回答	回答者	回答者番号	回答	回答者
1	好き	小学生	7	どちらでもない	中学生	13	好き	小学生
2	嫌い	中学生	8	嫌い	中学生	14	どちらでもない	中学生
3	どちらでもない	小学生	9	どちらでもない	中校生	15	どちらでもない	小学生
4	好き	中学生	10	嫌い	中校生	16	嫌い	中学生
5	嫌い	中学生	11	好き	小学生	17	どちらでもない	小学生
6	どちらでもない	小学生	12	好き	中学生	18	好き	小学生

		好き	どちらでもない	嫌い	合計値
集計	小学生	4	4	0	8
	中学生	2	3	5	10
	合計値	6	7	5	18

[練習 4] スプレッドシート (配付した「練習 3～4」のシート「練習 4」) で次のアンケート結果をクロス集計したクロス集計表をデータの下に 2 種類以上つくってみましょう。さらにそれぞれの集計結果からどんな特徴がわかるか、述べてみよう。

ある日時のスーパーの買い物客と買ったもののデータ

顧客番号	年齢層	性別	同居数	野菜類	………	セール品	支払金額
1	20 歳未満	男	1 人	買った	………	買った	5 千円未満
:	:	:	:	:	………	:	:
50	20 歳以上	女	2 人以上	買わない	………	買わない	5 千円以上

○次の数式と COUNTIF 関数を組み合わせて利用すると、自動集計が可能になります。

動作	複数の文字列をひとつにくっつける	
演算子	& (アパサンド)	
使用例	=”あら”&”こんにちは”	=A3&C3
結果	あらこんにちは	セル A3 と C3 の文字を順番につなげた文字列

[集計のヒント]

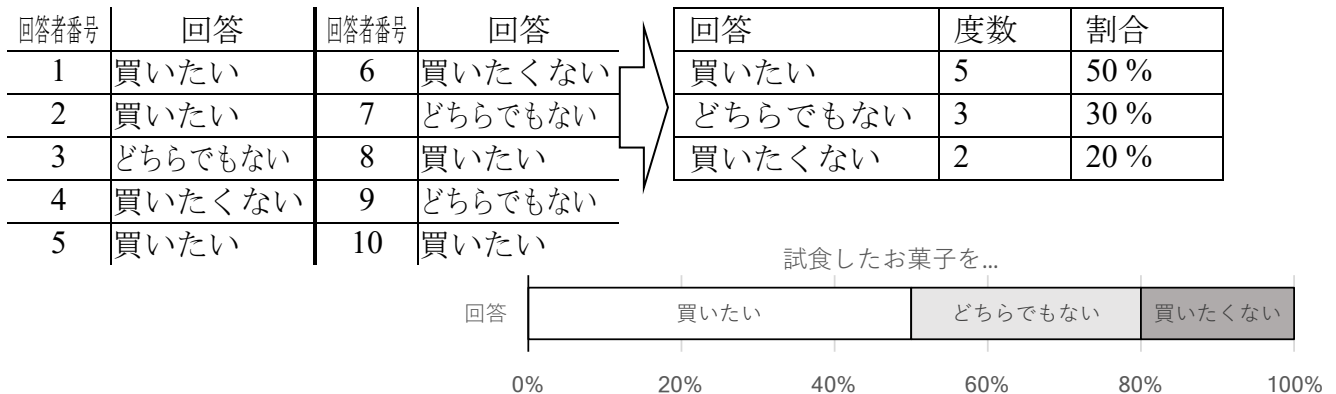
- ・関係のありそうな 2 つの項目を予想して選ぶ。
- ・2 つのデータの組合せをパターン別に数えたいとき、2 つのデータをくっつけた新たなデータ列を表の右端に加えて、その度数を数えさせるとよい。

## 【質的データの全体像を捉える】

### 1. 質的データの全体像をつかむための集計

- ( **単純集計表** ) …項目ごとの度数と割合を表にしたもの。  
→ ( **積み上げ棒** ) グラフや ( **円** ) グラフにすると割合がわかりやすい。

(例) 新商品として売り出す予定のお菓子の試食者アンケート



- [練習3] スプレッドシート (Classroom で配付する「練習3～4」のシート「練習3」) で次のアンケート結果の単純集計表をつくりましょう。  
まずは回答結果の表を完成させてから、できるだけ関数による自動計算で、回答結果の右側に単純集計表を作成してみよう。  
表が完成したら、積み上げ棒グラフを描かせてみよう。

ゆるキャラデザインに対するアンケート結果

回答者番号	回答	回答者番号	回答	回答者番号	回答
1	好き	7	どちらでもない	13	好き
2	嫌い	8	嫌い	14	どちらでもない
3	どちらでもない	9	どちらでもない	15	どちらでもない
4	好き	10	嫌い	16	嫌い
5	嫌い	11	好き	17	どちらでもない
6	どちらでもない	12	好き	18	好き

○次の関数を使うと、自動的に度数を数えさせることが可能です。

動作	条件に一致するセルの数を求める
関数	COUNTIF(範囲,検索条件)
使用例	=countif(B3:C8, “○○”)
結果	セル範囲 B3:C8 の中で、内容が「○○」であるセルの数



瀬戸内市  
マスコットキャラ  
「セツちゃん」

[グラフ化するときのヒント]

- ・グラフの種類は「100%積み上げ横棒グラフ」を選択しよう。
- ・グラフエディタの「設定」で「行と列を切り替える」や「列〇を見出しとして使用」「行〇をラベルとして使用」といった設定が可能。
- ・系列は増やしたり、減らしたりが可能。

## 2. 複数の質的データの特徴をつかみたいときの集計

- ( クロス ) 集計…項目ごとの度数と割合を使って単純集計表をつくることを ( 単純 ) 集計といいます。複数の項目がある量的データから、( 2 ) つの質的データを組み合わせて集計することを ( クロス ) 集計といいます。これによって、新たにさまざまな特徴がわかります。



(例) 小中学生のセツちゃんの印象に対するアンケート結果

回答者番号	回答	回答者	回答者番号	回答	回答者	回答者番号	回答	回答者
1	好き	小学生	7	どちらでもない	中学生	13	好き	小学生
2	嫌い	中学生	8	嫌い	中学生	14	どちらでもない	中学生
3	どちらでもない	小学生	9	どちらでもない	中校生	15	どちらでもない	小学生
4	好き	中学生	10	嫌い	中校生	16	嫌い	中学生
5	嫌い	中学生	11	好き	小学生	17	どちらでもない	小学生
6	どちらでもない	小学生	12	好き	中学生	18	好き	小学生

		好き	どちらでもない	嫌い	合計値
集計	小学生	4	4	0	8
	中学生	2	3	5	10
	合計値	6	7	5	18

[練習 4] スプレッドシート ( 配付した「練習 3～4」のシート「練習 4」) で次のアンケート結果をクロス集計したクロス集計表をデータの下に 2 種類以上つくってみましょう。さらにそれぞれの集計結果からどんな特徴がわかるか、述べてみよう。

ある日時のスーパーの買い物客と買ったもののデータ

顧客番号	年齢層	性別	同居数	野菜類	……………	セール品	支払金額
1	20 歳未満	男	1 人	買った	……………	買った	5 千円未満
:	:	:	:	:	……………	:	:
50	20 歳以上	女	2 人以上	買わない	……………	買わない	5 千円以上

○次の数式と COUNTIF 関数を組み合わせて利用すると、自動集計が可能になります。

動作	複数の文字列をひとつにくっつける	
演算子	& (アパサンド)	
使用例	=”あら”&”こんにちは”	=A3&C3
結果	あらこんにちは	セル A3 と C3 の文字を順番につなげた文字列

[集計のヒント]

- ・関係のありそうな 2 つの項目を予想して選ぶ。
- ・2 つのデータの組合せをパターン別に数えたいとき、2 つのデータをくっつけた新たなデータ列を表の右端に加えて、その度数を数えさせるとよい。